

製品名: ムチン 13 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab14239**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	50kDa

抗原情報

遺伝子名	MUC13
別名	MUC13; DRCC1; RECC; Mucin-13; MUC-13; Down-regulated in colon cancer 1
遺伝子 ID	56667.0
SwissProt ID	Q9H3R2
免疫原	抗血清はヒト MUC13 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 421-470

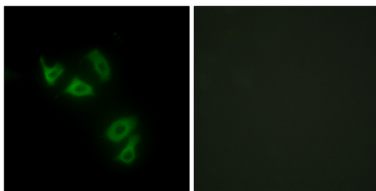
背景

MUC13 などの上皮ムチンは、管状および腺状上皮組織によって発現される分泌型および細胞表面糖タンパク質ファミリーです (Williams et al., 2001 [PubMed 11278439])。[OMIM 提供、2008 年 7 月],機能: 細胞シグナル伝達において役割を果たす可能性の

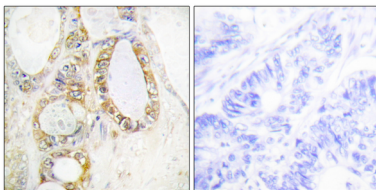
ある、上皮および造血膜貫通ムチン。、PTM: おそらく最初の EGF ドメインと SEA ドメインの間で、 α サブユニットと β サブユニットの 2 つのサブユニットに切断されます。 β サブユニットには細胞質末端が、 α サブユニットには細胞外末端が含まれます。二量体へのホモオリゴマー化は、鎖内ジスルフィド結合に依存します。、PTM: 高度に N 型グリコシル化されています。、類似性: 1 つの SEA ドメインを含みます。、類似性: 3 つの EGF 様ドメインを含みます。、細胞内局在: 可溶性形態としても存在します。、サブユニット: ベータサブユニットのホモ二量体です。、組織特異性: 上皮組織、特に大腸や気管などの消化管や呼吸器系の組織で多く発現し、次いで腎臓、小腸、虫垂、胃で多く発現します。、

研究分野

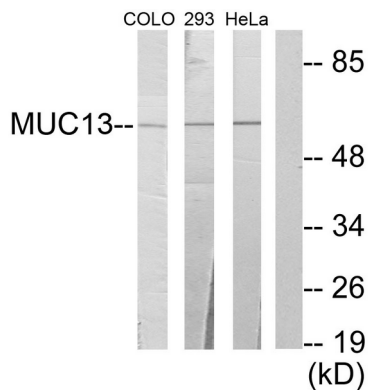
画像データ



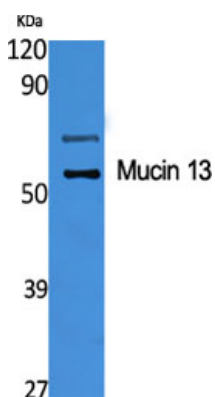
MUC13 抗体を用いた HepG2 細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



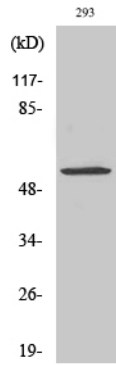
MUC13 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト大腸癌組織の免疫組織化学染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした画像です。



MUC13 抗体を用いた 293 細胞、HeLa 細胞、および COLO205 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



1: 1000 に希釈したムチン 13 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット分析



1: 1000 希釈のムチン 13 ポリクローナル抗体を用いた COLO205 細胞のウェスタンブロット解析